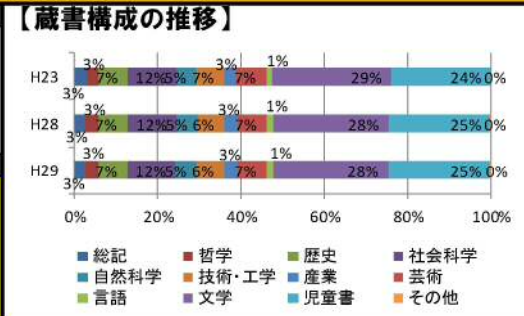

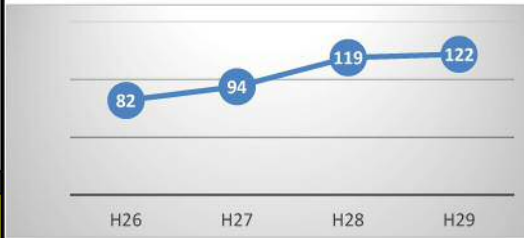




第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未滿 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度取組結果（成果・課題）		自己評価		(写真・絵・グラフ等)
				具体的に何をしたのか？ できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	？・具体的に何をやるのか	H29	(H28)	
基本方針1 市民の生活や活動に役立つ図書館								
◆施策の方向性1◆ — 幅広い分野の資料の収集 —								
1	図書館サービス係	■蔵書構成の再構築	限られた財源の中で、幅広く役立つ本を収集するために、次の手順を踏む ◆現状構成の分析 ⇒◆選定決定手順見直し ⇒◆選定基準の見直し (複本・保存・更新も含む) なお、全館に関わる事柄であるため、プロジェクトを設立して24年度末を目途に検討	【H29結果】 ○限られた財源の中で、蔵書構成の再構築を進めるため、寄贈圖書の有効活用や施設数が多く予算も大きい「区民・地区センター図書室」の選書の管理を引き続き行う等効率化を推進した。	⇒	○	○	【蔵書構成の推移】 
2	調査相談係	■郷土・行政資料の積極的な収集	◆現状分析（内部調査実施済） ◆公文書館と連携し、郷土・行政資料を確実に収集 ◆地区図書館、区民・地区センター図書室と連携した郷土・行政資料の収集方針の検討・改善	【H29結果】 ○郷土・行政資料の収集は地区図書館等、公文書館を含め、多方面から積極的に情報収集を行い、遺漏がないよう努めた。札幌市出資団体・企業史等の発行情報収集に留意したほか、札幌市のみでなく、市政に生かせるような道内市町村独自の発行物も幅広く収集した。道と連携し行政資料収集を推進した。	⇒	○	○	【郷土資料数】 92,566点（平成24年度末） →107,434点（平成29年度末）  ●札幌市図書館HP「デジタルライブラリー」
3	調査相談係	■視聴覚資料の継続的な収集	◆機器更新（H23年度）を踏まえ、新媒材（ブルーレイディスク等）への対応推進 ◆所蔵点数増加に伴う貸出点数増の検討	【H29結果】 ○29年度登録点数（4月3日現在）CD：中央図書館ほか4館計約700点 DVD（中央のみ）75点。 ○中央図書館閉架書庫（書庫4）に棚を増設、ビデオテープを移動させ当面のCD・DVDの棚不足を解消できた。レーザーディスクは視聴する利用者がいるため、今後の状況を見ながら中央図書館閉架書庫（書庫4）に移動させるか検討。 ○図書館用著作権許諾のブルーレイディスクの発売は現在も不透明な状態が続いており、現時点では購入には至らない。	⇒	○	○	【視聴覚資料数の推移】 
◆施策の方向性2◆ — 分かりやすく、使いやすい情報提供 —								
4	調査相談係	■レファレンス※1資料の充実・機能向上とサービスの周知	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供（紙媒体とHP版）	【H29結果】 ○平成29年8月から中央図書館老朽化に伴う改修工事が始まったため、臨時カウンターでの運営となった。そのため、前年度と比べて商用データベースの利用件数は69%、印刷枚数は61%となった。なお、改修工事に入る前の7月までの統計を見ると前年とほぼ同数であった。駐車場が5月から使用不可であったことを勘案すると実質的には利用者割合は増加傾向と見られる。 ○パスファインダー※2の改訂、HPの公開を実施した。 ○「情報ガイド」については一定の役割を終えたため、今年度は作成していない。（図書・情報館の開館に向けて同様のものを作成）	⇒	○	○	 ●商用データベース端末（中央図書館）
5	調査相談係	■非来館型レファレンスサービスの充実	◆メールレファレンスの検討と開始 ◆HP（ホームページ）上でレファレンス事例集・FAQ・パスファインダーを提供	【H29結果】 ○メールレファレンスは昨年より件数増加した。中央図書館の改修工事による休館に伴い、メールレファレンスが増加すると思われたが、結果的にはほぼ同数であった。理由としては当該改修工事のため、職員自体も図書館内に立ち入れない期間・場所が数多くあり、その旨を利用者が勘案してレファレンスの申込が増加しなかったのではと推察される。しかしながら、休館中にも関わらずほぼ同数であることは休館中にもメールレファレンスに対応しているという宣伝が一定の効果を上げたと言える。 ○HP上では19件のレファレンス事例を公開した。昨年より件数が減少しているのは休館により、公開すべきようなレファレンスが減少したためである。 ○パスファインダーは2件改訂した。なお、パスファインダーは一定の項目数に達したため、今年度より改訂作業を中心としているため、昨年度よりも数が減少している。	⇒	○	○	【メールレファレンス件数の推移】 

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未満 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度取組結果（成果・課題）		自己評価		(写真・絵・グラフ等)
				・具体的に何をしたのか？ ・できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	⇒	H29	(H28)	
				平成30年度取組内容				
				?・具体的に何をするのか				
6	調査相談係	■他の図書館との情報共有の推進	◆レファレンス協同データベースへの事例提供・公開（H23年度開始） ◆NDLサーチ（国立国会図書館サーチ）への円滑なデータ移行、所蔵目録送付の継続等により、全国の図書館が保有するデータの共同利用を推進	【H29結果】	⇒	○	○	
				○北海道や札幌市に関係した事例を中心に18事例をレファレンス協同データベースに提供した。昨年度は39事例であったため、半数ほどに減少している。理由としては中央図書館の改修工事に伴う休館により、職員によるレファレンス回答にも著しい制限があったため、全国の図書館に共有すべきようなレファレンスが減少したことがあげられる。				
				【H30目標】	○レファレンス協同データベースは、今後参考となるような事例があった際に全国の図書館で情報を共有していく目的であるため、公開数にとらわれず、共有すべき事例があった際には引き続き積極的に公開していく。			
7-①	図書館サービス係	■図書目録の高度化等の推進	◆蔵書検索システムの更新に合わせて目録を高度化するためMARC Tタイプを導入 ◆教育会図書や雑誌等の目録の再整備・高度化	【H29結果】	⇒	○	○	
				○NDC（日本十進分類法）9版からNDC10版への改訂を実施した。				
7-②	調査相談係	■図書目録の高度化等の推進	◆蔵書検索システムの更新に合わせて目録を高度化するためMARC Tタイプを導入 ◆教育会図書や雑誌等の目録の再整備・高度化	【H30目標】	○NDC（日本十進分類法）の改訂作業が終了したため、今後は、図書・雑誌の目録整備を適宜実施し検索利便性の向上を図っていく。			
				【H29結果】	⇒	○		○
				○郷土資料は過去に作成した書誌情報にページ数、内容紹介等を追加した。 ○新聞縮刷版の巻号登録、マイクロフィルム資料の注記に新聞の変遷等を加えた。 ○NDC（日本十進分類法）9版から10版への改定作業を実施した。				
				【H30目標】	○郷土資料は引き続き詳細情報の追加作業を継続する。 ○新聞縮刷版の巻号登録を継続する。			
◆施策の方向性3 ◆ — 電子サービスの充実 —								
8	調査相談係	■紙媒体と電子媒体による情報提供	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放《既出4》 ◆インターネット専用端末に調べ物用リンク集等を掲載 ◆無線LAN環境の整備の検討	【H29結果】	⇒	○	○	 <p>●無線LANの利用可能なキャレルコーナー（中央図書館）</p>
				○オンラインデータベースと来館者への開放は事業No.4を参照のこと。 ○HPの調べ物用リンク集の掲載情報についてはリンク切れ等を確認、情報の更新を実施した。 ○無線LAN環境の改善についてはセキュリティーキーの定期的更新を行った。				
9	地域支援係	■所蔵資料の電子書籍化の推進	◆電子化を拡大する資料の範囲を決定⇒実施	【H30目標】	○引き続きHPの「調べ物用リンク集」を充実させる。 ○現在2Fのキャレルコーナーに限定しているWiFi利用を全館に拡大する是非について検討する。			
				【H29結果】	⇒	○		○
				○「池田コレクション」71点、「さっぽろ絵本グランプリ」受賞作品5点、「生物多様性さっぽろ絵本コンテスト」受賞作品6点、市内高校の学生のデジタル絵本3点を電子書籍化するなど、電子書籍コンテンツの充実を図った。		【電子書籍の所蔵数】 7,140冊（平成28年度末） →8,408冊（平成29年度末）		
10-①	地域支援係・情報化推進担当係	■電子書籍貸出サービスの推進	◆電子書籍の貸出の研究⇒実施	【H30目標】	○地域資料を中心に、利用者にとって価値のある資料の電子書籍化を検討、実施していく。			
				【H29結果】	⇒	○		○
				○広報さっぽろ等の市政資料について、貸出し券がなくともすぐ閲覧できるよう設定を変更し、幅広く活用できるよう、環境整備を図った。 ○電子書籍の書評や、インターネットの使い方のコラムなどを記載する「電子図書館だより」を創刊し、PRを図った。		【電子書籍の貸出件数】 31,011冊（平成28年度末） →38,700冊（平成29年度末）		
				【H30目標】	○利用促進のため、新しいコンテンツの調達、可能なシステムの改善をしていく。		 <p>●札幌市電子図書館HP</p>	

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未達 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度取組結果（成果・課題）		自己評価		(写真・絵・グラフ等)	
				平成30年度取組内容	具体的に何をしたいのか？ ・できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	H29	(H28)		
10-②	えほん図書館	■電子書籍貸出サービスの推進	◆デジタルネイティブ世代への普及・啓発 ◆さっぽろデジタル絵本事業	【H29結果】 ○デジタル絵本等（30作品）の館内閲覧用タブレット（2台）を来館者に提供しているほか、年齢別おはなし会や団体利用においてデジタル紙芝居（10作品）を活用している。また、デジタル絵本の普及と子どもの想像力や思考力を高めるためのデジタル絵本ワークショップを開催（3回）。【課題】別途、デジタル絵本等の利用増加のためのPRが必要。 ○さっぽろデジタル絵本事業として、電子図書館のコンテンツ充実、絵本文化の普及・発展、札幌の魅力発信等を目的に創作絵本のコンクール「第2回さっぽろ絵本グランプリ」を開催。21作品の応募があり、受賞作品（5作品）を電子図書館に登録。【課題】当該事業に対する市民への周知の推進 ○大正期絵本・絵雑誌等のデジタルコンテンツを電子図書館にて提供開始	・具体的に何をしたいのか？ ・できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	⇒	△	-	  <p>●デジタル紙芝居</p> <p>●さっぽろ絵本グランプリ</p>
11	調査相談係	■情報リテラシー支援	◆資料・情報調査に関するパンフレット・マニュアルの整備 ◆資料・情報調査に関する講座を開催	【H29結果】 ○パスファインダーの改訂を実施した。 ○レファレンス事例集の発行、HPの公開をした。 ○市民の暮らしを資料と情報で支援する「暮らし応援棚」を中央図書館2階の相談コーナー前に整備し、身近な法情報と医療介護情報の資料、パンフレットを配置した。		⇒	○	○	  <p>●パスファインダー（左側）と中央図書館2階「暮らし応援棚」（右）</p>
<p>基本方針2 本・人・文化を結ぶ図書館</p> <p>◆施策の方向性1◆ — 新たな文化との出会いの場の提供 —</p>									
12-①	地域支援係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【H29結果】 <児童向け行事> おはなしどうぶつえん（円山動物園協力）、日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力 <児童・一般向け行事> 札幌国際短編映画祭PR上映会（No Maps実行委員会協力）、カルチャーナイト（札幌ハーモニカ・アンサンブル協力） <一般向け行事> サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計2回）、美術への誘い（北海道美術館協会との共催）		⇒	○	○	 <p>●おはなしどうぶつえん（平成29年度）</p>
12-②	地域支援係・図書館サービス係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【H29結果】 <子ども向けの行事・展示> 読み聞かせボランティアによるお話の会62回、一日司書体験4回、ブックトーク1回、図書館でオリエンテーリング2回、ピブリオバトル※3 1回、ぬいぐるみのお泊り会2回、せかいの絵本おはなし会1回、展示2回（くまくま、きょうりゅう）、ミニ展示4回（金原瑞人、自由研究等） <中学・高校生向け行事・展示> 常設展示テイクオフ1テーマ（部活）、交流掲示板（イラスト）、職業について学ぼう1回、ヘンテコ図書館からの脱出、子ども読書キャラバン事業読み聞かせ会9回、子ども読書キャラバン事業講演会1回、子ども読書キャラバン事業展示9回 ※子ども読書キャラバン事業は、中央図書館の改修工事中の限定事業 <一般向け展示> 1階図書室1回（札幌演劇シーズンを知っていますか）		⇒	○	○	 <p>●せかいの絵本おはなし会</p>
				【H30目標】 ○より一層の他団体との連携を図るとともに、様々な年代の利用者が興味を持ち図書館へ来館するきっかけづくりとなるような行事・展示の内容充実を図っていく。					
				【H30目標】 ○平成27年度から中高生向けの本のコーナー（ティーンズの森）を立ち上げ中高生向けサービスに力を入れており、引き続き中高生向けの行事・展示の充実を図っていく。					






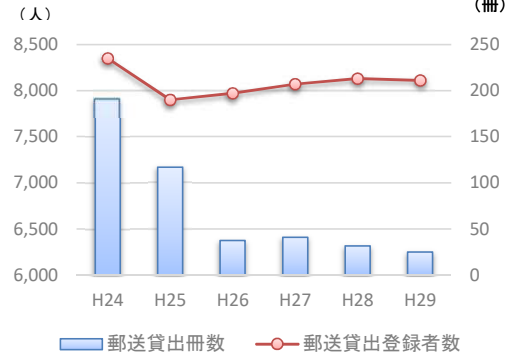

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未達 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度取組結果（成果・課題）		自己評価		(写真・絵・グラフ等)
				平成30年度取組内容	具体的に何をしたいのか？ ・できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	H29	(H28)	
12-③	調査相談係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【H29結果】 ○一般向け行事 イベント「ドレーくんからの挑戦状—図書館本探しバトル—」、講演会「Donald・キーンがつづる石川啄木の世界」 ○展示 企画展「北海道コンサドーレ札幌展～市民とともに歩んだ20年の軌跡～」、巡回展「Donald・キーン 石川啄木の日記を読み解く～最初の現代日本人～」、さっぽろ資料室ミニ展示（「もっと知りたい北海道のこと」、「北海道立近代美術館 40周年」） 【H30目標】 ○一般向け行事 「北海道命名150年 松浦武四郎講演会」（仮称） ○展示 企画展「おおば比呂司 癒しの世界展」、所蔵展「北海道命名150年 松浦武四郎展」（仮称）、さっぽろ資料室ミニ展示12回（「シベリア抑留を読む」ほか）	⇒	○	○	 ●企画展「北海道コンサドーレ札幌展～市民とともに歩んだ20年の軌跡」
12-④	えほん図書館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆発達段階に応じた子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	【H29結果】 ○子どもの発達段階に応じた年齢別おはなし会、ボランティアによるおはなし会を開催 ○乳幼児とその保護者を対象とした読書推進行事として、図書館デビュー（人形劇や演劇などを交えた読み聞かせ会）、ぬいぐるみおとまり会（おはなし会に参加したお子様のぬいぐるみが図書館内を探索する様子を写真に撮影し、アルバムとして提供）、絵本のワークショップ（立体絵本の創作等）を開催 ○「絵本講座」として絵本文化や絵本の選び方、読み聞かせに関する講座及び父親の読み聞かせ講座として「イクメン絵本講座・おはなし会」を開催 ○「ボランティア講座」として、ペーパースーツ、紙芝居、わらべうた講座を開催 ○幼稚園・保育所等の団体利用を受入 ○市内の大学生と連携し、館内装飾や開館1周年記念行事の運営サポートを実施 【課題】 以上の行事の参加者数の合計は1万人を超え堅調であるが、一部において開催日程や内容により参加者数にばらつきが生じる場合もあり、適切な日程の選択など一部内容の見直しが必要。 【H30目標】 ○H29年度堅調だった、図書館デビュー、ぬいぐるみお泊り会、絵本ワークショップ、絵本講座、ボランティア講座、幼稚園・保育所等の団体利用、大学生との連携は継続開催。 ○外国語絵本のワークショップを新規に開催。 ○年齢別（3・4歳）おはなし会は、参加実態を考慮し、毎月1回土曜日に開催していた5歳以上向けのおはなし会と合せて、土曜日（1回）に変更するとともに、外部講師及び登録ボランティア団体によるおはなし会の開催回数を増やし、3歳以上の幅広い参加機会を設ける。 ○イクメン絵本講座・おはなし会はH29年度の参加実績から、対象を父親に限定せず、家族向けとして各種おはなし会への参加を呼び掛ける。	⇒	○	-	 ●ぬいぐるみおとまり会 ●ボランティア講座
13-①	図書館サービス係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【H29結果】 ○1階図書室展示1回（札幌演劇シーズンを知っていますか） 【H30目標】 ○引き続き利用者の興味・関心を喚起するような展示テーマを選択するとともに、効果的な展示を行っていく。	⇒	○	○	 ●図書室の展示（中央図書館）
13-②	調査相談係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【H29結果】 ○中央館所蔵の郷土資料とコンサドーレ提供のパネル、資料を紹介した企画展「北海道コンサドーレ札幌展～市民とともに歩んだ20年の軌跡～」、「Donald・キーン 石川啄木の日記を読み解く～最初の現代日本人～」さっぽろ資料室ミニ展示2回（「もっと知りたい北海道のこと」、「北海道立近代美術館 40周年」）を開催した。 ○展示リストを作成配布、HPに公開し、蔵書検索システムの「テーマ展示」にも公開した。 【H30目標】 ○企画展「おおば比呂司 癒しの世界展」、所蔵資料展「北海道命名150年 松浦武四郎展」（仮称）と関連講演を開催する。さっぽろ資料室ミニ展示は昨年まで2か月ごとに展示替えしていたが30年度より1か月ごとに変更し12回開催する。（「シベリア抑留を読む」「堀淳一を読む」「アイヌの衣装・文様について」等） ○展示リストを作成し配布、HPに公開、蔵書検索システムの「テーマ展示」にも公開する。	⇒	○	○	 ●展示の様子

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未達 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度取組結果（成果・課題）		自己評価 H29 (H28)	(写真・絵・グラフ等)
				平成30年度取組内容	具体的に何をやるのか		
14	地域支援係	■図書館見学や職場体験の充実	◆司書体験や館内ツアーの多様化の検討と実施	【H29結果】 ○司書課程実習1回17人、1日司書体験4回30人、図書館でオリエンテーリング2回16人、館内ツアー（総合学習含む）8回185人	・具体的に何をしたのか？ ・できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	⇒ ○ ○	 ●一日司書体験(カウンター体)  ●オリエンテーリング
◆施策の方向性2◆ — 誰もが利用しやすい施設の整備とサービスの充実 —							
15	総務係	■案内表示等の充実	◆表示や設備のユニバーサル化について、23年度に中央館で実施 ◆地区館については24年度以降に中央館とのサイン表示の統一も視野に入れた検討及び予算要求を行う。	【H29結果】 ○中央館は、大規模改修によりトイレやエレベーター等の設備が誰もがわかりやすく使えるようなものに更新した。		⇒ ○ △	 ●中央図書館:トイレ  ●中央図書館:エレベーター
16	情報化推進担当係	■電算システムの更新	◆蔵書検索システム・業務システムの改善（子ども～高齢者まで使いやすい）、電子書籍貸出し機能、SAPICAへの図書貸出券機能付加	【H29結果】 ○現行システムに残る不具合について対応し、安定的なシステム稼働を実現した。 ○敬老優待乗車証、福祉乗車証のICカード化にあわせ、SAPICA同様の図書貸出し券機能を追加した。 ○図書・情報館での独自運用にあわせICタグやICハンディ機器などを使用するシステムを開発した。 ○中央図書館の大規模改修による臨時カウンターの運営にあわせシステム運用を行った。		⇒ ○ ○	 ●SAPICA同様に図書貸出券機能を追加したカード
17	図書館サービス係	■高齢者・障がいのある方向けの資料の充実と利用環境の整備	◆出版状況の調査やボランティア団体との連携による大活字本・大型絵本・大型絵本等の収集充実 ◆拡大読書器や宅配貸出の充実、視覚障がい者等に対応したWebサービスの導入	【H29結果】 ○大活字本・拡大写本所蔵冊数：3,271冊 ○大型絵本：157冊、超大型絵本：127冊 ○郵送貸出登録者211人、郵送貸出冊数6,248点となり、前年比横ばい。		⇒ ○ ○	【大活字本・拡大写本の所蔵数】 3,225冊（平成24年度末） →3,271冊（平成29年度末） 【郵送貸出登録者数及び郵送貸出数の推移】 
18	図書館サービス係	■視覚障がい者情報センターとの情報の共有と発信	◆視覚障がい者へのサービス充実に向け、情報センターとの意見交換と研修の推進 ◆障がい者向けサービス掲載のパンフレット配布など、情報センター利用者へのPRを強化	【H29結果】 ○視覚障がい者情報センターとサービス充実に向け情報交換。「障害者サービス担当職員養成講座」へ図書情報専門員を派遣。		⇒ ○ ○	
◆施策の方向性3◆ — 子どもの読書環境の充実 —							
19-①	地域支援係	■普及事業の充実	幼児～高校生の読書促進施策の充実 ◆子ども向け行事の充実（ボランティアとの協働、全館行事の強化） ◆毎年度ごとに、子ども読書チャレンジプロジェクトの企画更新を続ける	【H29結果】 ○こどもの読書週間（4/23～5/12）及び読書週間（10/27～11/9）に係る全館特別行事、年間を通して様々な行事を行う子ども読書チャレンジプロジェクトの実施等により、子どもたちが図書や図書館に触れる機会を多数創出した。 【小学生向け行事】進路探究オリエンテーション、【中学生向け行事】図書局員による特色ある取組発表、中・高生ビブリオバトル		⇒ ○ ○	 ●中・高生ビブリオバトル(平成29年度)

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未達 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度の取組結果（成果・課題）		自己評価		(写真・絵・グラフ等)	
				・具体的に何をしたのか？ ・できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	⇒	H29	(H28)		
				平成30年度の取組内容					
				?・具体的に何をするのか					
19-②	えほん図書館	■普及事業の充実	乳幼児の読書促進施策の充実 ◆親子で絵本に親しむきっかけづくりの場の提供 ◆図書館を利用する習慣がない乳幼児の来館機会の創出	【H29結果】 ○図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、絵本のワークショップなどを開催。 (開催数の合計：21回、参加者数の合計：2,195人) 【課題】図書館デビューは、開催内容によっては会場規模を超えることがあり、入場管理の見直しが必要。 【H30目標】 ○図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、絵本のワークショップなどを継続実施。 ※図書館デビューは、会場定員を明記して周知を行い、業務委託により場内整理人員を確保のうえ開催。 ○小学校に入学するまでに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラムとして「めざせ！えほんマイスター」を平成30年4月23日（子ども読書の日）から実施。一定の読書冊数に到達すると特典を付与し、1,000冊達成すると達成証明書、えほんマイスターバッジ等を交付する。	⇒	○	-	 ●図書館デビュー	
20-①	地域支援係	■図書の展示やブックリストの充実	◆こどもの森内の時節や季節に応じた展示を充実し、児童生徒の読書への関心を喚起する ◆ミニ展示中の資料をリスト化して配布するほか、Web上でも公開する	【H29結果】 ○中央館改修工事の制約がある中、時節に応じた展示をこどもの森内で実施し、展示図書リストを作成した。 展示2回（くまくま、きょうりゅう）、ミニ展示4回（自由研究、さがしえ絵本等）、常設展示テイクオフ1テーマ（ブカツ！） 【H30目標】 ○引き続き児童・生徒の興味・関心を喚起するような展示テーマを選択するとともに、効果的な展示を行っていく。	⇒	○	○	 ●こどもの森(中央図書館)展示の様子	
20-②	えほん図書館	■図書の展示やブックリストの充実	◆対象年齢別、テーマ別におすすめの絵本を紹介	【H29結果】 ○ブックリストの作成・配布 H28年度に、第1弾として対象年齢別におすすめの絵本を紹介する冊子「えほん図書館ブックリスト」を作成・配布しており、H29年度は、第2弾として「のりもの」「おばけ」「恐竜」などの人気ジャンル別におすすめ絵本を紹介する冊子「えほん図書館ブックリスト（テーマ別編）」を作成・配布。 ○館内の特設展示コーナーで「食」「干支」「自然・生命」などのテーマ別に資料の特設展示を実施。 【H30目標】 ○館内の絵本展示コーナーで資料の特別展示を継続実施。 ○ブックリストの作成・配布 H30年度は、第3弾として、おすすめの「紙芝居」を候補に内容を検討中。	⇒	○	-	 ●ブックリスト(年齢別)  ●特設展示コーナー	
21-①	地域支援係	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆児童書研究資料の充実や各種目録を参考にした蔵書の充実 ◆児童サービス関係研修への参加や関係機関との情報交換等による児童担当職員の育成	【H29結果】 ○引き続き児童研究資料の購入を行い充実を図った。「職員のための読み聞かせ研修会」と題して外部講師を招いた児童サービス研修を実施した。 【H30目標】 ○児童研究資料の充実を図る。 ○外部講師を招いての児童サービス研修を予定している。	⇒	○	○	 ●児童研究室(中央図書館)	
21-②	えほん図書館	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆絵本文化に係る一般向け資料の計画的収集 ◆絵本への理解を深めることができる蔵書環境の整備	【H29結果】 ○H29年度は以下のとおり資料を追加・更新 ・新刊絵本は、子どもの年齢別に必要なもの約700冊 ・既刊絵本も、紙芝居や布絵本を中心に約100冊 ・複本購入・除籍本等の補充、行事等で必要なもの約100冊 ・絵本に関する一般書を約100冊 ○年齢別おはなし会の開催時に読み聞かせとともに資料を紹介。 ○館内の特設展示コーナーで「食」「干支」「自然・生命」などのテーマ別に資料を紹介するとともに、年齢別又は「のりもの」「おばけ」などのテーマ別のおすすめ絵本をブックリストで紹介 【H30目標】 ○H29年度と同規模の資料の追加・更新を行うとともに、絵本展示コーナーでの資料紹介やブックリストを追加のうえ資料情報の提供を充実する。	⇒	○	-	 ●ブックリスト(テーマ別)  ●特設展示コーナー	

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未達 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度取組結果（成果・課題）	自己評価		（写真・絵・グラフ等）
				平成30年度取組内容	H29	(H28)	
22	地域支援係	■障がいのある子ども向け資料の充実	◆点字絵本、L1ブック等のほか、関係団体との連携による適切な資料の研究と充実 ◆障がい児等に対応したWebサービスの導入	【H29結果】 ○電子媒体による資料の充実を引き続き進めた。	⇒	○	
				【H30目標】 ○関係団体との連携強化と電子媒体による資料の充実を図っていく。			
23-①	図書館サービス係	■外国語の子ども向け資料の充実	◆洋書絵本等の充実 ◆多文化理解のための各種行事の実施	【H29結果】 ○洋書絵本所蔵数3,272冊 ○外国語絵本による児童向け読み聞かせ会（せかいの絵本お話会）1回（英語）実施。	⇒	○	<p>洋書絵本所蔵数（冊）</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29</p>
				【H30目標】 ○前年度と違う言語の外国語絵本による児童向け読み聞かせ等を実施し、異文化理解を促進を図る。			
23-②	えほん図書館	■外国語の子ども向け資料の充実	◆洋書絵本等の充実	【H29結果】 ○外国語の絵本は、英米の絵本の賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語である英語、中国語、韓国語、ドイツ語、ロシア語を中心に約500冊を収集・提供している。 （H29年度は英語絵本を43冊追加し、蔵書冊数の内訳は、英語392冊、ドイツ語訳32冊、韓国語22冊・中国語21冊・ロシア語20冊、その他の言語30冊） 【課題】赤ちゃんや小さいお子様向けの英語絵本の収集について来館者の要望がある。	⇒	○	<p>●姉妹都市コーナー</p>
				【H30目標】 ○絵本の賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語の絵本と合わせ、乳幼児向けの英語絵本を収集する。			


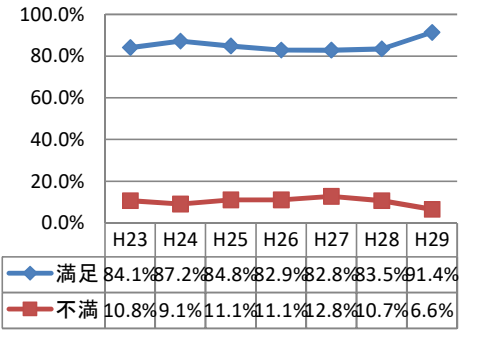


基本方針3 広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館

◆施策の方向性1◆ — 積極的な情報発信 —

24	総務係	■ホームページや広報印刷物の充実	◆HPのコンテンツの充実を図る（ブックリストの掲載、近郊都市や大学研究機関の図書施設との相互リンクの作成など）。 ◆広報物の内容・種類の充実を図る。	【H29結果】 ○HPでは分かりやすい情報発信に努めた。 ○図書館広報誌については、検討できなかった。	⇒	△	
				【H30目標】 ○HPコンテンツの拡充及び有効な情報発信方法について検討する。			
25-①	地域支援係	■普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各部局や大学・関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	<p>〈児童向け行事〉 おはなしどうぶつえん（円山動物園協力）、日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力 〈児童・一般向け行事〉 札幌国際短編映画祭PR上映会（No Maps実行委員会協力）、カルチャーナイト（札幌ハーモニカ・アンサンブル協力） 〈一般向け行事〉 サイエンス・フォーラム in さっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計2回）、美術への誘い（北海道美術館協会との共催）、さっぽろ家庭読書フォーラム（学校教育部との連携）、 「文字・活字文化の日」記念講演会、「子どもの読書」支援セミナー（計2回）</p>	⇒	○	<p>●美術への誘い（平成29年度）</p>
				【H30目標】 ○図書館での実施意義を念頭に置きながらも、様々な機関との連携を積極的に進め、多様な情報発信事業の開催に努める。			







第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未達 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度取組結果（成果・課題）		自己評価		（写真・絵・グラフ等）
				・具体的に何をしたのか？ ・できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	⇒	H29	(H28)	
25-②	調査相談係	■普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各部署や大学・関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	【H29結果】 ○企画展「北海道コンサドーレ札幌展～市民とともに歩んだ20年の軌跡～」にてコンサドーレと連携し、ドーレくんと市電にのり、図書館でなぞときをするイベントも併せて実施。巡回展「ドナルド・キーン 石川啄木の日記を読み解く～最初の現代日本人～」ではドナルドキーンセンターの学芸員の講演を合わせて実施。所蔵資料を活用したミニ展示は2回実施。改修前の7月までに全て実施した。 【H30目標】 ○4月に企画展「おおば比呂司 癒しの世界展」を実施。10月から所蔵展「北海道命名150年 松浦武四郎展」（仮称）実施、北海道博物館の学芸員の関連講演実施。さっぽろ資料室ミニ展示は昨年までの6回から12回に増加（「シベリア抑留を読む」ほか）。	⇒	◎	○	●イベント「ドーレくんの挑戦状～図書館本探しバトル～」 
◆施策の方向性2◆ — 市民との協働 —								
26-①	総務係	■満足度や評価についての調査の継続	◆日々利用者から寄せられる苦情・要望の分析（アンケートフォーム、市民の声を聞く課を通じた要望等） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB）	【H29結果】 ○日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上で公表した。 【H30目標】 ○日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上での公表を継続する。	⇒	○	○	【中央図書館及びえほん図書館、地区図書館の満足度の推移】 
26-②	企画担当係	■満足度や評価についての調査の継続	◆市民の満足度調査として、利用者アンケートを実施（年度末） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB） ※H23年度：中央館+地区図書館、H24年度以降：区民・地区センター図書室への導入検討（区政課との協議）	【H29結果】 ○利用者アンケート結果を次年度の計画等に反映させるため、中央館及びえほん館、地区館について年内に取りまとめをした。 ○H30.4には図書館等の結果と合わせてHP上で公表するとともに、中央館の結果を館内に掲示した。 【H30目標】 ○次年度の計画等に反映させるべく、引き続き、H29年度と同様の時期に利用者アンケート調査を実施する。 ○H30.10に開館する図書・情報館での利用者アンケートの試行的実施。	⇒	○	○	
27-①	地域支援係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【H29結果】 ＜児童向け行事＞ おはなしどうぶつえん（円山動物園協力）、日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力 ＜児童・一般向け行事＞ 札幌国際短編映画祭PR上映会（No Maps実行委員会協力）、カルチャーナイト（札幌ハーモニカ・アンサンブル協力） ＜一般向け行事＞ サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計2回）、美術への誘い（北海道美術館協会との共催）、さっぽろ家庭読書フォーラム図書局発表（学校教育部との連携） その他、CISE※4ネットワークと連携し、「調べる学習支援トランクキット」を学校図書館司書配置中学校を対象に貸出（10件）。 【H30目標】 ○社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業を開催できるよう検討する。	⇒	○	○	●サイエンス・フォーラムinさっぽろ（平成29年度） 
27-②	えほん図書館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【H29結果】 ○登録ボランティア団体によるおはなし会及び交流会の実施（登録11団体、開催40回、交流会1回） ○幼稚園、保育園及び認定こども園の団体利用のPR及びプログラムの提供（65件） ○市内の大学生、えほん図書館サポーター（ボランティア）と連携し、開館1周年記念行事を運営。 【H30目標】 ○登録ボランティア団体によるおはなし会及び交流会を継続 ○幼稚園、保育園及び認定こども園の団体利用のPR及びプログラムの提供の継続 ○市内の大学生と連携し、館内装飾や行事の運営サポートを継続	⇒	○	-	●開館一周年記念事業「えほんとしょかんおばけやしき」 
28-①	総務係	■ボランティアの活躍の場の提供	◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。 ◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。 ◆活動の場としての環境整備を行う。	【H29結果】 ○随時活動の場を提供した。 平成29年度実績 8団体に対し研修室等の貸出を行った。 （平成29年8月から平成30年3月まで改修工事のため使用不可） 【H30目標】 ○引き続き活動の場を提供する。	⇒	○	○	【中央図書館研修室等の貸出件数の推移】 134件（平成27年度末） →138件（平成28年度末） →51件（平成29年度末）

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況

【自己評価】 ◎：目標を大幅に上回る ○：ほぼ目標通り △：目標未達 ×：未着手

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	平成29年度の取組結果（成果・課題）		自己評価		(写真・絵・グラフ等)	
				・具体的に何をしたのか？ ・できなかったことは何か？ ⇒【課題】として明記	⇒	H29	(H28)		
				平成30年度の取組内容					
				?・具体的に何をするのか					
28	えほん図書館	■ボランティアの活躍の場の提供	◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。 ◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。 ◆活動の場としての環境整備を行う。	【H29結果】 ○ボランティア団体の活動の場として登録11団体による読み聞かせ会の開催（40回） ※H29年度：6団体から11団体へ登録団体増 ○個人サポーターの活動の場として登録者23名の方にフロアワークや絵本の修理などのサポートをいただいている。 ○ボランティア活動の支援及び情報交流のため、ボランティア講座（3回）、交流会（1回）を開催 【H30目標】 ○H29年度の取組を継続するとともに、登録団体の増加に伴い、ボランティア団体の読み聞かせ活動機会を拡大する。	⇒	○	-		●ボランティア交流会
◆施策の方向性3◆ — 将来に渡って持続可能な図書館運営 —									
29	図書・情報館担当係	■都心にふさわしい図書館の検討	◆北1西1地区再開発事業として整備する「札幌市民交流プラザ」内に、札幌市図書・情報館を開設（平成30年度予定）するため、再開発準備組合が行う基本・実施設計との調整等を進める。 ◆図書館協議会等の意見を踏まえ、都心部にふさわしい図書館の機能（対象、規模、運営体制、位置づけ等）の検討を進める。	【H29結果】 ○必要とされる図書やデータベースの整備（選定・購入）、備品の調達、外部専門団体との連携構築（試行セミナー）、ICタグを活用した蔵書管理システムの設計、開発など、必要とされる開館準備を行った。 【H30目標】 ○平成30年10月7日（日）の円滑なオープンに向け、図書やデータベースなどの資料面、ICタグを活用した蔵書管理等のシステム面、機能性にすぐれた備品などの環境面からの整備を行う。また、外部専門機関との連携も積極的に進め、月に複数回のセミナー開催を行う。さらに、内部の研修も積極的に進め、調査相談業務にあたる図書情報専門員の資質を向上する。	⇒	○	○		●図書・情報館完成イメージ
30	総務係	■計画的な施設・設備の改修	◆中央館・地区館の施設の問題点整理 ◆書庫拡大への検討・調整に伴う、施設整備計画（中央館：書庫増設や駐車場有料化の検討、地区図書館：エレベーター設置による会議室転用など書庫の配置を検討）の策定 ◆バリアフリーに対応した改修計画作成・実施 ◆保全計画など市関連部署の施策と連携した施設整備	【H29結果】 ○建築部と連携し、中央館大規模改修工事（建築、電気、設備）、山の手図書館（エレベーター設備）の保全・改修を行った。書庫スペースの確保についても、関係部署と引き続き調整を行った。 【H30目標】 ○厚別図書館にて設備等の改修工事を行う。また、書庫スペースの確保についても、引き続き埋蔵文化財センターと調整していく。	⇒	○	○		●平成29年度に大規模改修を行っている中央図書館（一部工事）
31	企画担当係	■民間活力導入の検討	◆第2次図書館ビジョンに掲げるサービスを実現できるよう、民間活力の導入の効果と課題を配慮しながら、業務委託を検討していく。	【H29結果】 ○第3次札幌市生涯学習推進構想での図書館の位置づけや図書館協議会からの答申「生涯学習社会の中で札幌市図書館が果たすべき役割について」も考慮に入れながら、図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制を構築していくための考え方や具体的な取組について検討を行った。 【H30目標】 ○引き続き、図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制における図書館の位置づけも考慮したうえで、「知の拠点」となる図書館を実現するための図書館運営の検討を継続する。	⇒	○	○		
32	総務係	■図書、資料の充実に向けた寄付の促進	◆図書資料の市民からの寄付喚起（ホームページや広報誌でのPR） ◆図書購入費への充当を目的とした金銭の寄付喚起 ◆図書館備品等の寄贈の呼びかけ	【H29結果】 ○HP掲載により寄付喚起を行った。 ○ふるさと納税の活用について検討を行った。 【H30目標】 ○引き続きHP掲載により寄付喚起を行う。	⇒	○	○		●札幌市図書館HP「寄贈のおねがい」
33	調査相談係	■職員の研修体制の充実	◆市民対応等サービス向上のための基礎的な研修の実施 ◆業務の専門性を向上する研修の実施	【H29結果】 ○集合研修 図書館員の意識改革等を学ぶ現場力養成研修、イベント等普及事業等に関する企画力養成研修、アメリカの図書館や国内の先進事例を学ぶ実践力養成研修、児童サービス研修（読み聞かせ講習）を実施した。 ○派遣研修 「図書・情報館」開館に向けた人材育成のため、「ビジネス・ライブラリアン講習会」を札幌に誘致し、7名受講した。（26年度からの累計12名受講済）その他に医療女健康情報サービス、児童文学講座、障がい者サービス、法律講座、資料デジタル化研修などには派遣した。 ○フィードバック研修 えほん図書館海外事例報告とともに派遣研修受講者が各研修のポイントをピックアップして他の職員に伝える「フィードバック研修」を実施した。 【H30目標】 ○集合研修では、図書館の規模に関わらず、幅広く必要な知識を身につける内容を実施する。派遣研修はそれぞれの担当の課題や必要なサービスに応じて実施し、職員の専門性を深めていく。 ○派遣研修のフィードバック研修を29年度同様実施する。	⇒	◎	○		●研修の様子

※1 レファレンス：図書館が利用者へのサービスとして行う、情報提供や参考図書の紹介などの業務。
※2 パスファインダー：特定のテーマに関する資料や情報を収集するための手順を簡単にまとめたもの。

※3 ピブリオバトル：参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたい本を投票で決めるイベント。
※4 CISE：北海道大学総合博物館を中心とした、札幌市周辺地域にある教育施設等で科学技術コミュニケーション活動を推進するネットワーク。